

大野一区 ニュース

赤崎集会所 落成式

赤崎集会所が落成しました。
4月1日から供用開始しています。

認可地縁団体について

廿日市市大野第一区は、2021年6月1日に認可地縁団体として承認され、法人格を持つ自治会になりました。法人格を持つに



野田区長挨拶

至ったのは、赤崎集会所の新築補助金（2,350万円）申請のためです。法人格を持たないと“廿日市市大野第一区”名で所有権登記できないからです。赤崎集会所が完成した3月中旬に、“廿日市市大野第一区”名で法務局に所有権登記をしました。尚、大野第一区への会員登録には、認可地縁団体加入申込提出が必要となります。

赤崎集会所の建設

初回（2018年）の申請時に、見積や設計を担当していただいたオレンジ建設さんと、



備品搬入 R4.2.8

編集：総務部会

発行：大野第一区 区長

「仮称一区集会所」建設計画の具体化を相談し、9月27日着工・1月末完成の工程で工事が始まりました。（工事の進捗状況は、1区ホームページにupしていますのでご覧ください）建設工事が始まる前の5月頃から、木材が30%高騰するウッドショックに見舞われて、建設費の再見積を余儀なくされました。建設費用は、当初2,600万円を予定していましたが、再見積により2,800万円になりました。更に諸経費が約200万円必要となり総事業費は、約3,000万円となりました。宮島口自治会から「備品代に使ってほしい」と、80万円の高額寄付をいただきました。とても助かりました。



桧山氏に感謝状

1月26日完工検査、2月8日備品納入と開設準備をして、3月19日に落成式を挙行了しました。赤崎集会所が宮島口地域活動の拠点になるよう、有効・有用に活用していきます。



完工検査 R4.1.26

発行日：令和4年5月1日 通巻63号

集会所利用者会議



熱心に聞く利用者の方々

2月19日(土)柿の浦集会所にて、一区内の集会所を利用されている約30団体の代表者に集まっていたいただき、会議を開催しました。目的は、集会所の利用について理解を得る、あるいは深めて円滑な集会所の運営の実現です。今回の主な議題は、通常の利用上の留意点に加え、令和4年度より利用が可能となる赤崎集会所の開設と、コロナ禍での集会所利用に関する注意点と「まん延防止等重点措置」などでした。

段ボール倉庫製作



資材機材を準備し製作開始

楽楽エコボックス活動が始まって18ヶ月経過しました。資源ごみ回収活動は、万年青会が中心となって、青葉台集会所横の倉庫に集めています。コロナ禍にあって、通信販売利用者が急増していることもあり、段ボールが予想以上に多くなったので急遽倉庫を作ることになり、役員有志7名が参加して一日がかりで雨対策の倉庫を作りました。

波板取付

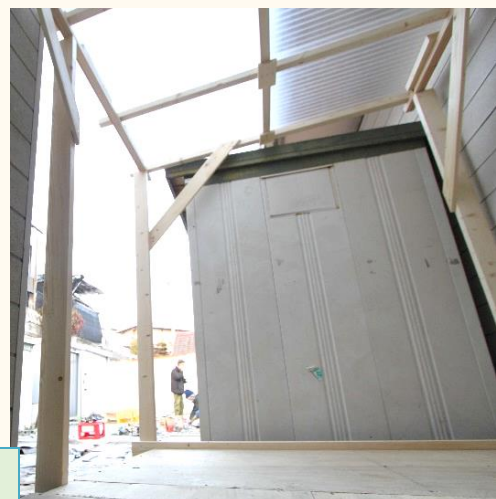


製作途中に、回収活動の苦労話を聞きました。

- 1) エコボックスを大野町時代のゴミボックスと間違えて生ゴミを入れている
- 2) ひもの結び方が緩いと、ばらけて回収に余分な時間がかかる
- 3) 回収をしないビン類を出す人がいる
- 4) ある時は、猫の死骸がボックスに入っていた
- 5) 万年青会の高齢化で、いつまで続けられるか分からん

楽楽エコボックスを有効に活用するためには、区民のみなさまの支援と協力が必要です。

苦労話が笑い話なることを期待しています。



内側から入口を見る

後期企画推進協議会



役員に地域代表者の方々

2月26日(土)企画推進協議会委員と大野第一区役員ら計26名が集まり、東市民センターに於いて会議を開催しました。大野第一区の諸事業を民主的かつ円滑に推進することを目的として会議を進めました。今回の主な議題は大野第一区役員人事、令和3年度活動実績と令和4年度活動計画、各種協力団体への助成、令和4年度からの赤崎集会所の利用開始、本区の集会所の運営状況などでした。

後期楽楽キャブ運行会議

2月24日(木)東市民センターにおいて会議が開催されました。主な議題は、令和4年度役員を選任、要綱・要領の一部改正、令和3年度の業務結果、赤崎集会所利用開始に伴うコースの一部変更、廿日市市まちづくりチャレンジ応援補助事業の応募結果、楽楽キャブ運行に対するアンケート調査の実施、大野第一区ホームページへの掲載についてなど、6年目を迎え盛りだくさんの内容でした。